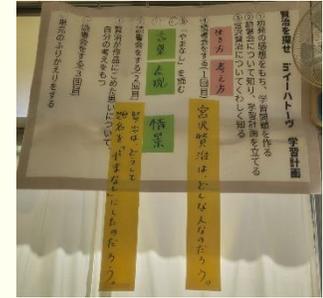




6学年 国語
授業 「賢治を探せ in イーハートブ」
めあて：賢治の作品に込めた思いについて、自身の考えを持つ

【ロイロノートでの感想の共有】

読書会で「互いの読んだ作品」を通じて意見を共有する授業はこれまでも実施してきました。今回はロイロノートで作成したテンプレート(感想記載用紙)を児童に配布することで、黙々と作業に臨んでいました。情報共有にあたって、クラスメイトの感想を、熱心に読み進めている様子が見られました。



担任の先生のコメント

ロイロノートで感想の共有を実施することで、提出までは個々人の考えを記載する事に専念する時間の設定ができ、提出後はクラスメイトの感想を細かく読むことができる。ICT機器を活用することで、個別/協働的な学びの切り替えが簡単に実施できるので、一人ひとりの考えを広げ、深める授業には必須であると考えている。

《授業の流れ》

1 賢治の人柄を考える上での共通概念の共有

どのような部分に注目して賢治の気持ちに近付くかを発問し、結果を全体に共有

2 賢治の人柄の再確認

宮沢賢治の異なる作品を読んだ3名で班を作成しているため、各物語の背景にある「賢治の共通点」を班内で意見を出し合う(同じ作品を読んだ同士は前時で共有済み)情報共有が終わったグループは「延長戦カード」で試行を深める

3 自分の考えを記載する

賢治の心境について、本時までに学んだことや友人とのやり取りの中で感じたことを、自分の考えとして記載し、提出

